

令和 4 年建設委員会説明資料

令和 4 年 8 月 1 8 日

都市計画部

目 次

(都市政策課)	
海老川上流地区のまちづくりについて	3

説明資料

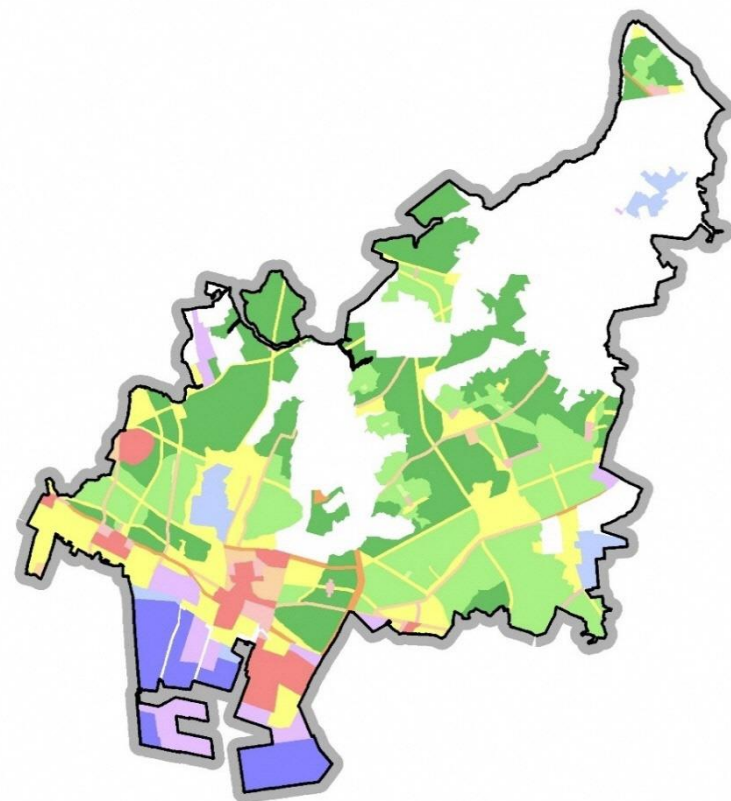
海老川上流地区のまちづくりについて【報告】

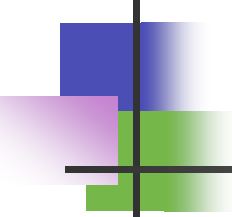
令和4年1月18日に開催された第195回千葉県都市計画審議会にて「土地地区画整理事業による海老川流域の治水への影響に関する検討を続け、住民に対しご理解いただけるよう丁寧に説明を重ねること。」とする附帯意見がございました。

市としては、これを重く受け止め、シミュレーションを委託いたしました。その検証の経緯や解析条件及び解析結果等についてご報告いたします。

海老川上流地区土地区画整理事業による 海老川流域の治水への影響について (建設委員会資料)

船橋市 建設局
都市計画部 都市政策課
令和4年8月18日





目次

1. 土地区画整理事業の概要
2. 海老川流域の雨水対策
3. 検討経緯
4. 洪水浸水想定とは
5. 検討の解析条件
6. 解析結果
7. まとめ

1. 土地区画整理事業の概要

～位置～



土地区画整理事業面積約42.3ha

1. 土地区画整理事業の概要

～都市計画の経緯～

- 都市計画法に基づき、以下の都市計画を決定、変更
 - ・都市計画区域の整備、開発及び保全の方針
 - ・区域区分
 - ・用途地域
 - ・土地区画整理事業
 - ・下水道

年月日	内容
令和2年11月21日	都市計画決定に係る説明会
令和2年12月11日～25日	都市計画の案の概要の公告・縦覧
令和3年7月2日～16日	都市計画の案の公告・縦覧
令和3年9月15日	市都市計画審議会
令和4年1月18日	県都市計画審議会
令和4年3月4日	都市計画決定

1. 土地区画整理事業の概要

～土地区画整理事業の経緯～

- 土地区画整理法に基づき、土地区画整理組合の設立を認可

年月日	内容
平成30年3月	海老川上流地区土地区画整理組合 設立準備会結成
令和3年9月16日	組合設立認可申請
令和3年10月1日～15日	事業計画の縦覧
令和4年3月4日	海老川上流地区土地区画整理組合 設立認可

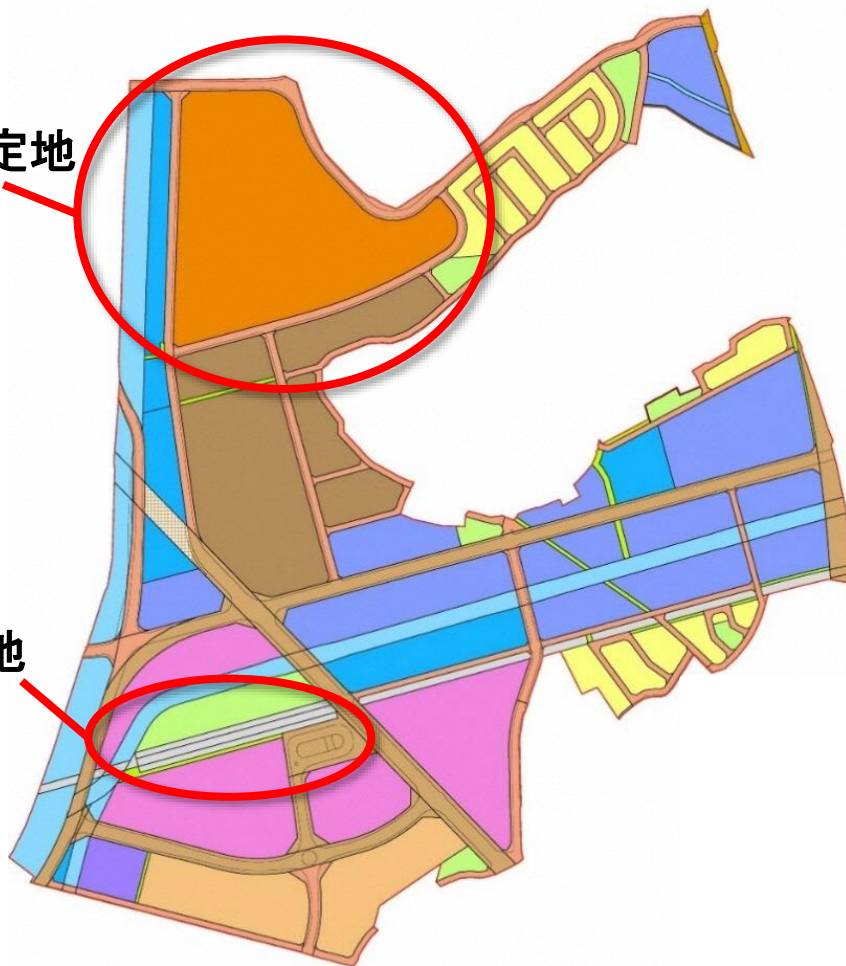
1. 土地区画整理事業の概要

～土地利用計画図～

凡 例	
	施行地区界
公 共 用 地	 都市計画道路
	 区画道路
	 歩行者専用道路
	 河川・水路
	 公園
	 調整池
宅 地	 医療センター用地
	 医療健康拠点施設用地
	 地区拠点商業施設用地
	 沿道利用施設用地
	 中高層住宅地
	 低層住宅地
	 墓 地
	 鉄道用地

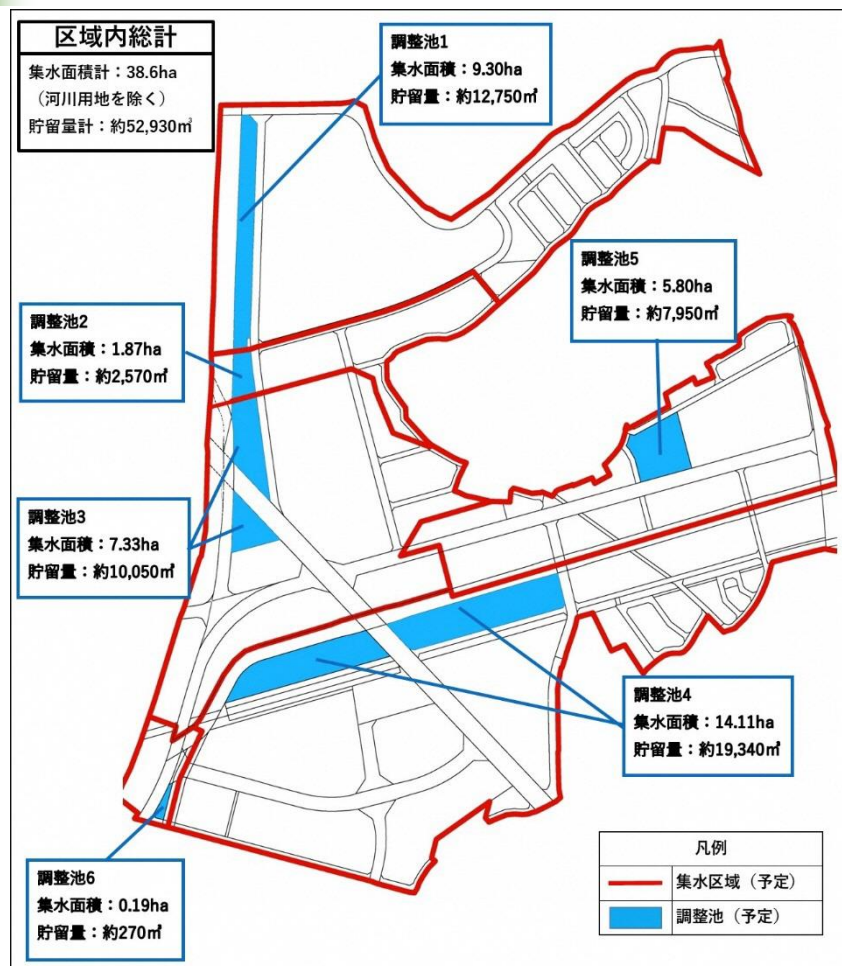
医療センター予定地

新駅予定地



1. 土地区画整理事業の概要

～雨水対策～

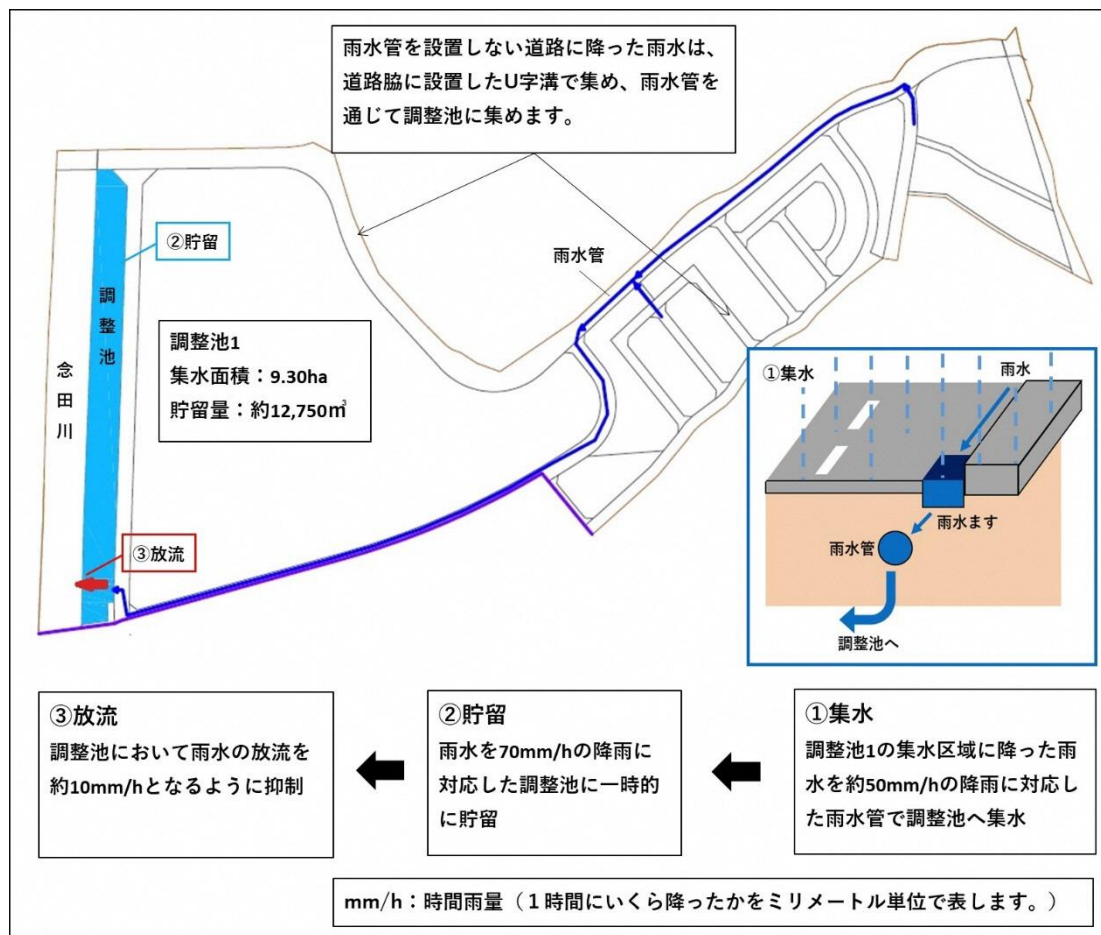


➤ 土地区画整理事業で整備する調整池

- 地形等を考慮し6つの集水区域に分割
- 集水面積に応じた貯留量の調整池を整備

1. 土地区画整理事業の概要

～雨水対策～



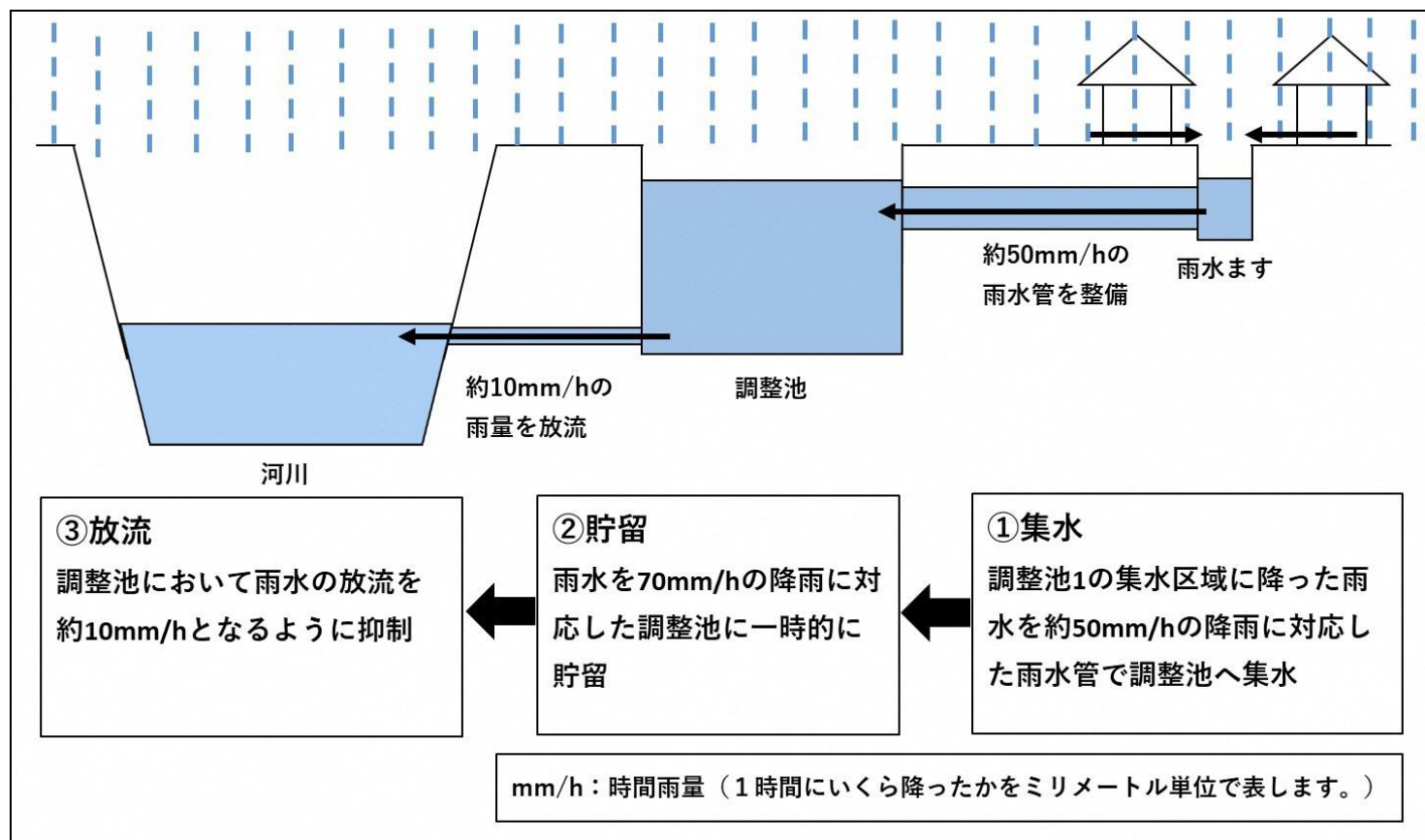
➤ 調整池の仕組み

- 雨水管で雨水を集水
- 調整池に一時的に貯留
- 雨水の河川への流出量を抑制

1. 土地区画整理事業の概要

～雨水対策～

➤ 調整池 1 集水区域断面図（イメージ）



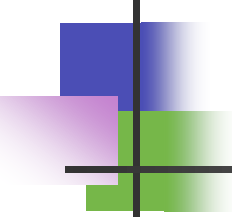
2. 海老川流域の雨水対策

～海老川水系 流域治水プロジェクト～

二級水系 流域治水プロジェクト		海老川水系 流域治水プロジェクト【ロードマップ】 ～ 東京湾北部圏域の中小河川の流域治水を推進 ～				千葉県
● 海老川水系では、県、市が一体となって以下の手順で「流域治水」を推進する。 【短 期】 河川における対策として、土地区画整理事業に合わせて飯山満川の河道拡幅を推進するとともに、海老川調節池の本格施工に着手する。また、海老川、飯山満川、長津川等においては堆積土撤去を実施する。 【中 期】 飯山満川の上流区間について河道拡幅を推進するとともに、海老川調節池については貯留効果を早期に発現するため、段階的な暫定供用を目指す。また、必要に応じて、堆積土撤去を実施する。 【中長期】 引き続き、飯山満川の河道拡幅、海老川調節池の整備、海老川の河床掘削等を推進し、海老川水系全体の整備完了を目指す。 ● あわせて、流域の市街化率が8割を超えている状況を踏まえ、都市浸水対策の強化（排水機場の老朽化対策、公共下水道の整備等）および雨水流出抑制対策（雨水貯留浸透施設等の設置）を実施するとともに、マイ・タイムラインや避難確保計画の作成支援などのソフト対策を推進する。						
区分	対策内容	実施主体	工程			【事業費（R3以降の残事業費）】 ■ 河川対策 全体事業費 248.4億円 河道拡幅、調節池整備等
			短期	中期	中長期	
氾濫をできるだけ防ぎ、減らすための対策	河道拡幅、河床掘削、調節池整備	千葉県	飯山満川の河道拡幅、海老川調節池の整備、海老川の河床掘削等			気候変動を踏まえた 更なる対策を推進
	堆積土撤去	千葉県、船橋市	3河川等で実施			
	河川護岸等の老朽化対策	千葉県、船橋市	継続して実施			
	学校の校庭等を活用したオンサイト貯留	船橋市	市立小学校、中学校等の14箇所等実施			
	排水機場の老朽化対策	千葉県、船橋市	海老川排水機場、都疎浜ポンプ場、宮本ポンプ場等で実施			
	公共下水道（雨水）の整備	船橋市	暫定運用			
	雨水貯留浸透施設等の設置、自然地の保全等、透水性舗装	関係市	継続して実施			
被害対象を減少させるための対策	立地適正化計画の策定・運用【現在策定中】（居住誘導区域の設定）	船橋市	策定・運用			
	立地適正化計画の策定支援	千葉県	策定・見直し支援			
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	危機管理型水位計、河川監視カメラ	千葉県	増設予定			
	水害対応タイムラインの活用	千葉県、関係市	継続して実施			
	マイ・タイムラインの普及啓発、避難確保計画策定に向けた周知・支援、講話等	船橋市	継続して実施			
	防災ハンドブックの配布、浸水履歴公開	船橋市	継続して実施			

【事業費（R3以降の残事業費）】
 ■ 河川対策
 全体事業費 248.4億円
 河道拡幅、調節池整備等

気候変動を踏まえた
更なる対策を推進

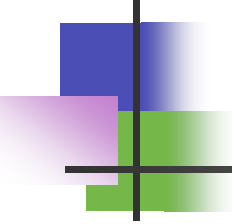


3. 検討経緯

- 海老川上流地区を市街化区域に編入することについて附帯意見を付して可決
(令和4年1月18日県都市計画審議会)
- 附帯意見
「土地区画整理事業による海老川流域の治水への影響に関する検討を続け、住民に対し御理解いただけるよう、丁寧に説明を重ねること」



海老川水系洪水浸水想定区域図作成時のシミュレーション結果に対し、今回の土地区画整理事業がどのような影響を与えるのかについて検討



4. 洪水浸水想定区域とは

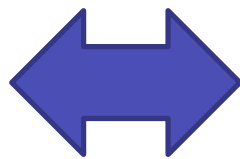
- 洪水浸水想定区域とは、水防法に基づき、洪水時の円滑な避難を確保し、又は浸水を防止することにより、水災による被害の軽減を図るため、当該河川が氾濫した場合に浸水が想定される区域を指定したもの

5. 検討の解析条件 ～検討の方法～

- 土地区画整理事業実施前（洪水浸水想定区域図作成時）と土地区画整理事業実施後のシミュレーション結果を比較することで治水への影響を検討

土地区画整理事業実施前
（洪水浸水想定区域図作成時）

シミュレーション結果



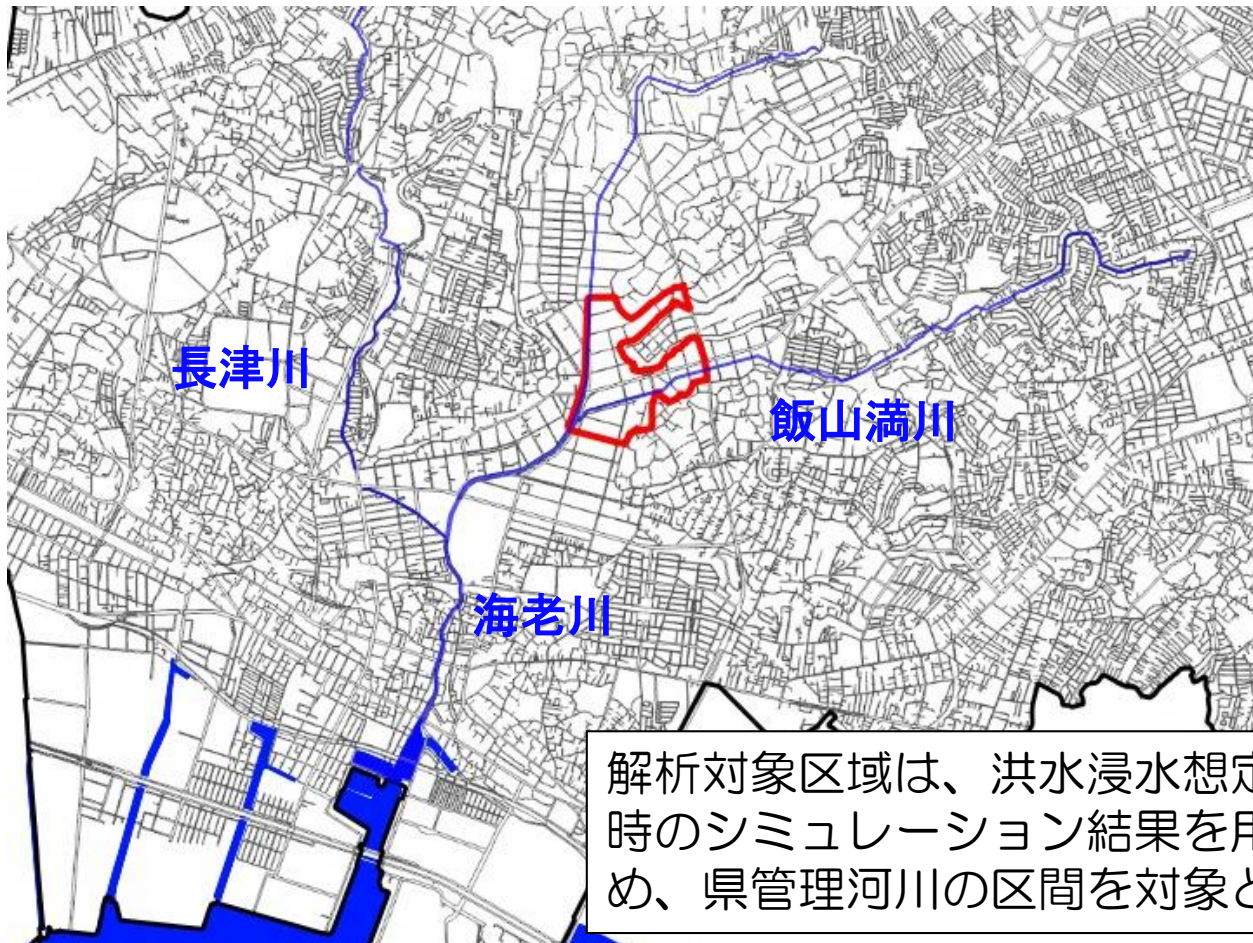
比較

土地区画整理事業実施後

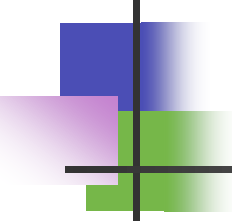
シミュレーション結果

※ 土地区画整理事業実施後の状況を加味

5. 検討の解析条件 ～対象区域～



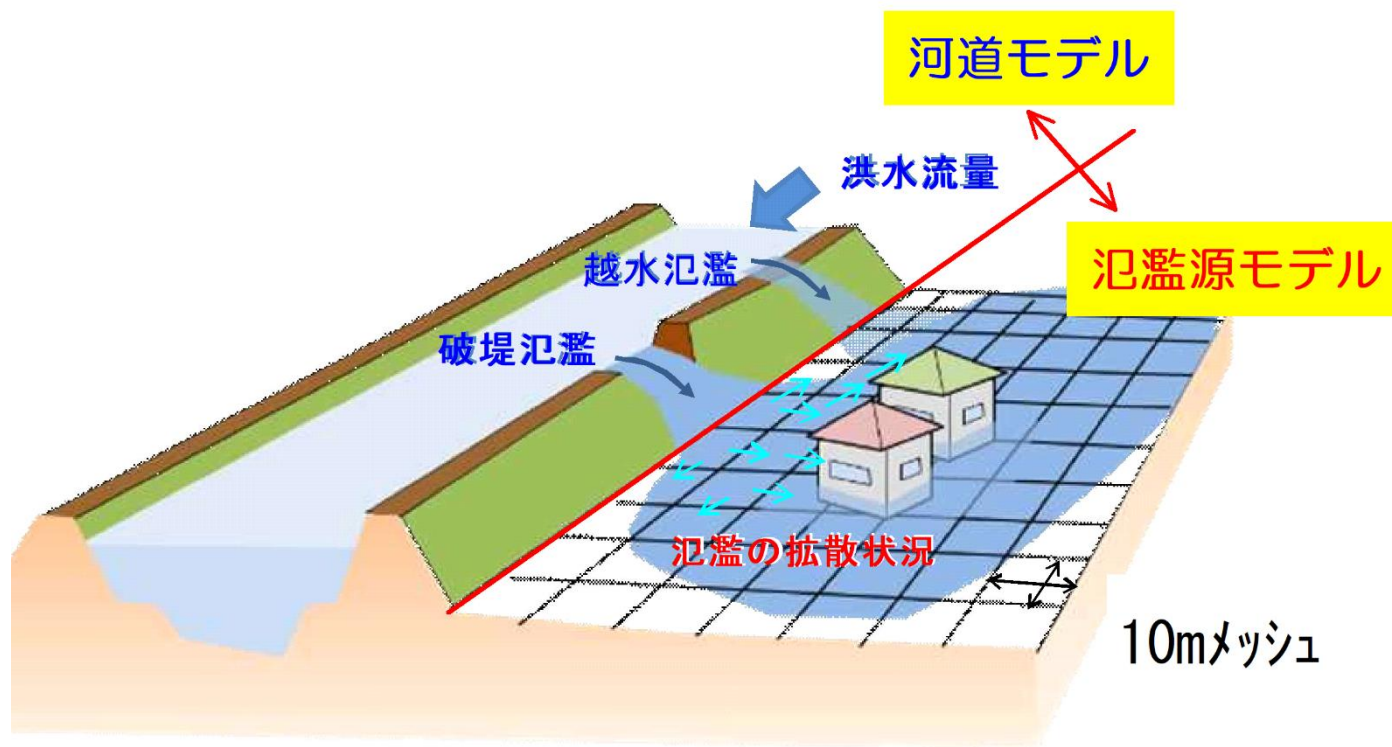
解析対象区域は、洪水浸水想定区域図作成時のシミュレーション結果を用いているため、県管理河川の区間を対象としている

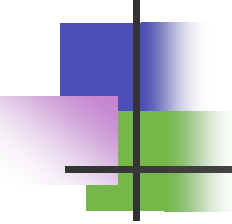


5. 検討の解析条件 ～降雨規模～

- 今回検討する降雨規模は以下3パターンでシミュレーションを実施
 - 高頻度の降雨（年超過確率1/10いわゆる10年に一度の降雨）
海老川流域の24時間雨量163mm
海老川水系河川整備計画の目標とする降雨
 - 想定最大規模の降雨
（年超過確率1/1,000いわゆる1000年に一度の降雨量を上回る降雨）
海老川流域の9時間総雨量516mm
水防法に基づく想定し得る最大規模の降雨
 - 計画規模の降雨（年超過確率1/50いわゆる50年に一度の降雨）
海老川流域の9時間総雨量221mm
海老川水系河川整備基本方針の目標とする降雨

5. 検討の解析条件 ～解析の方法～





5. 検討の解析条件

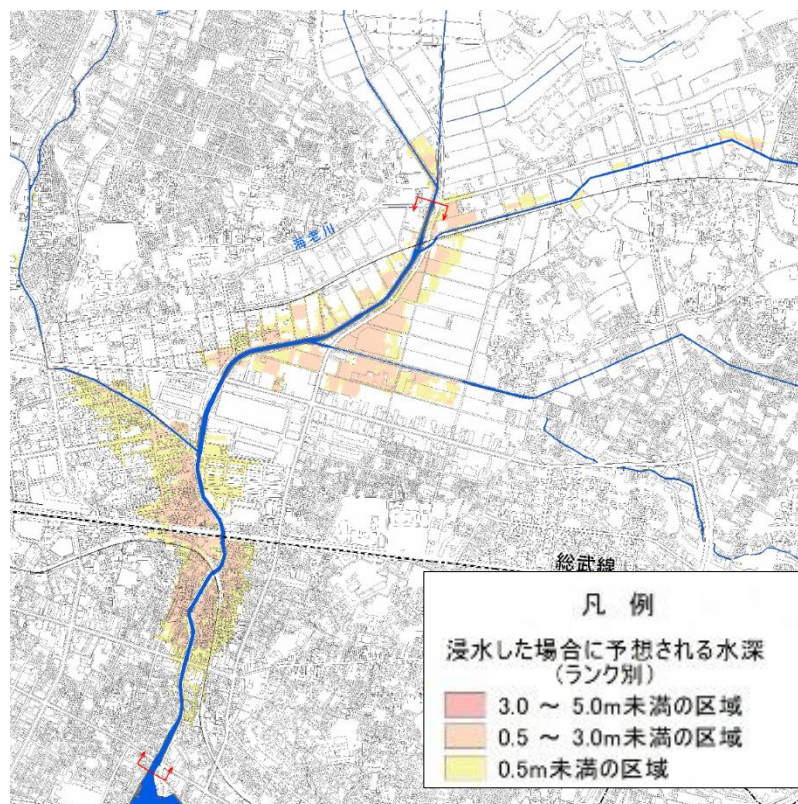
～土地区画整理事業実施後～

- 洪水浸水想定区域図作成時のシミュレーション条件に以下条件を加味し設定
 - 土地区画整理事業の宅地造成や調整池等を反映
 - 土地区画整理事業によるまちづくりが概ね完了する頃までに見込まれる河川の整備状況を反映（海老川下流部河床掘削・海老川調節池暫定掘削）

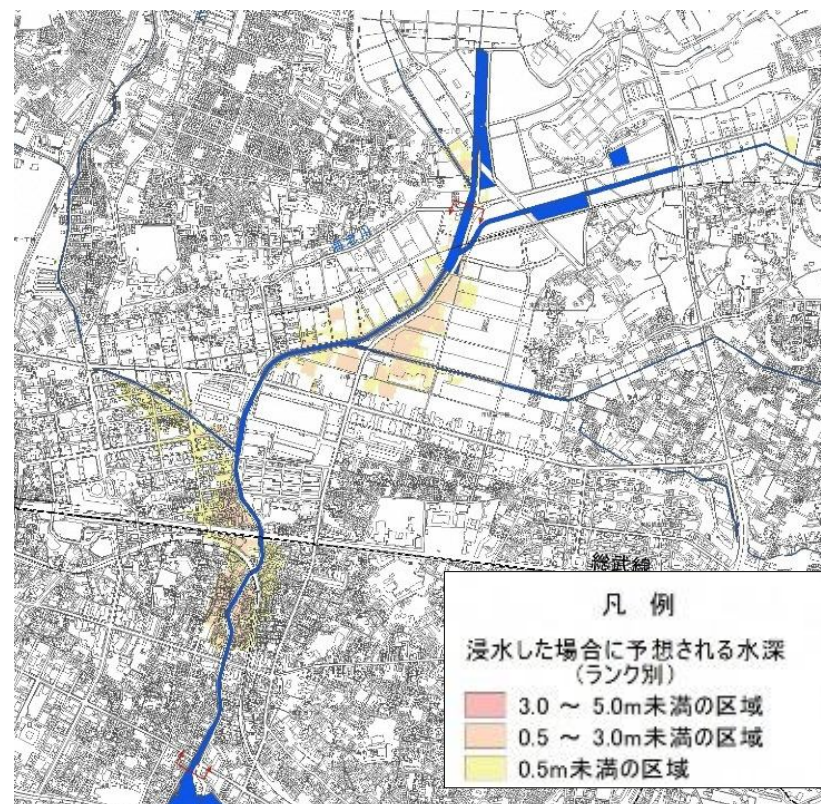
6. 解析結果

～高頻度の降雨の比較～

①土地区画整理事業前の浸水想定区域図



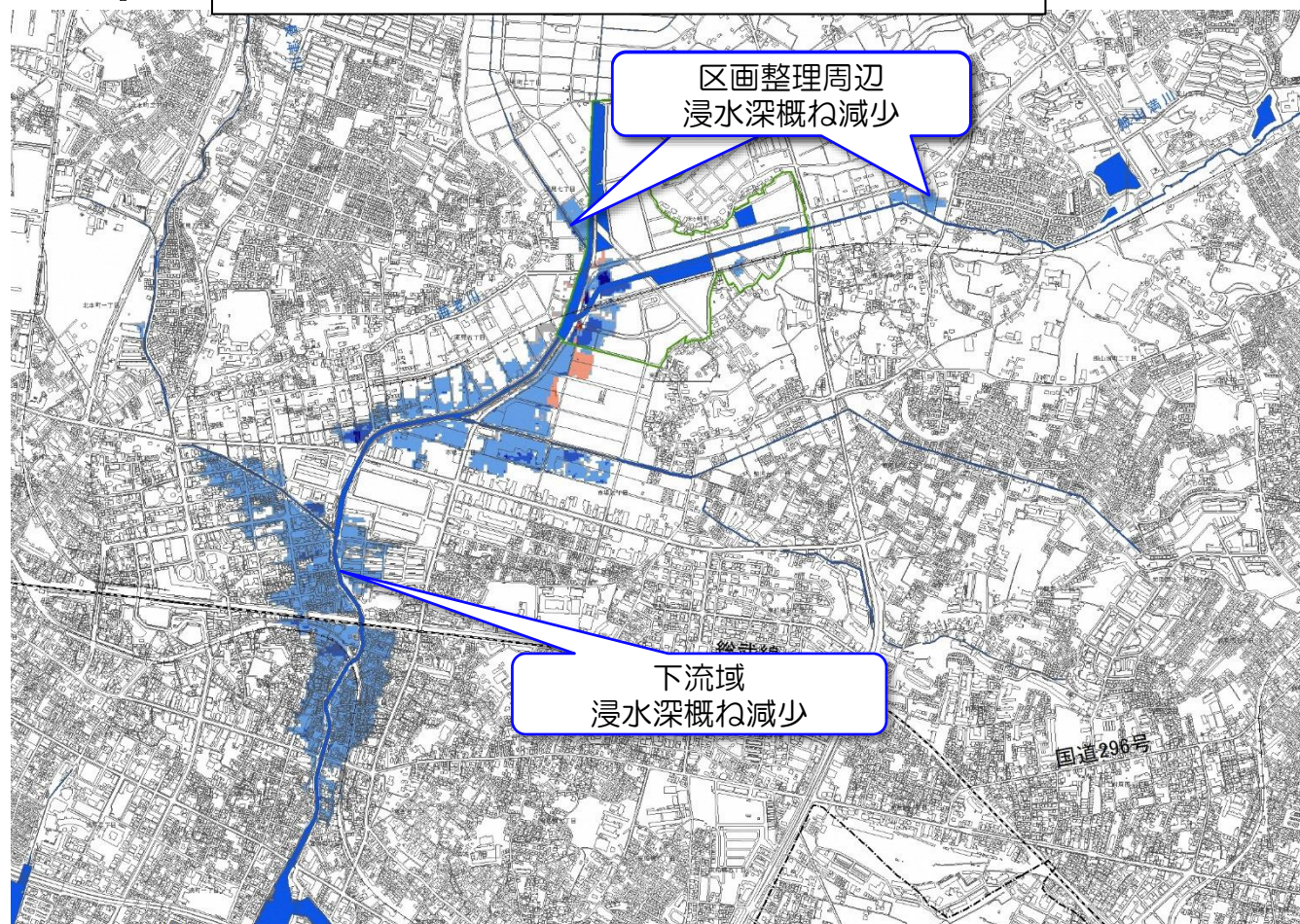
②土地区画整理事業後の浸水予想区域図



6. 解析結果

～高頻度の降雨の比較～

土地区画整理事業前後の浸水深さの変化量

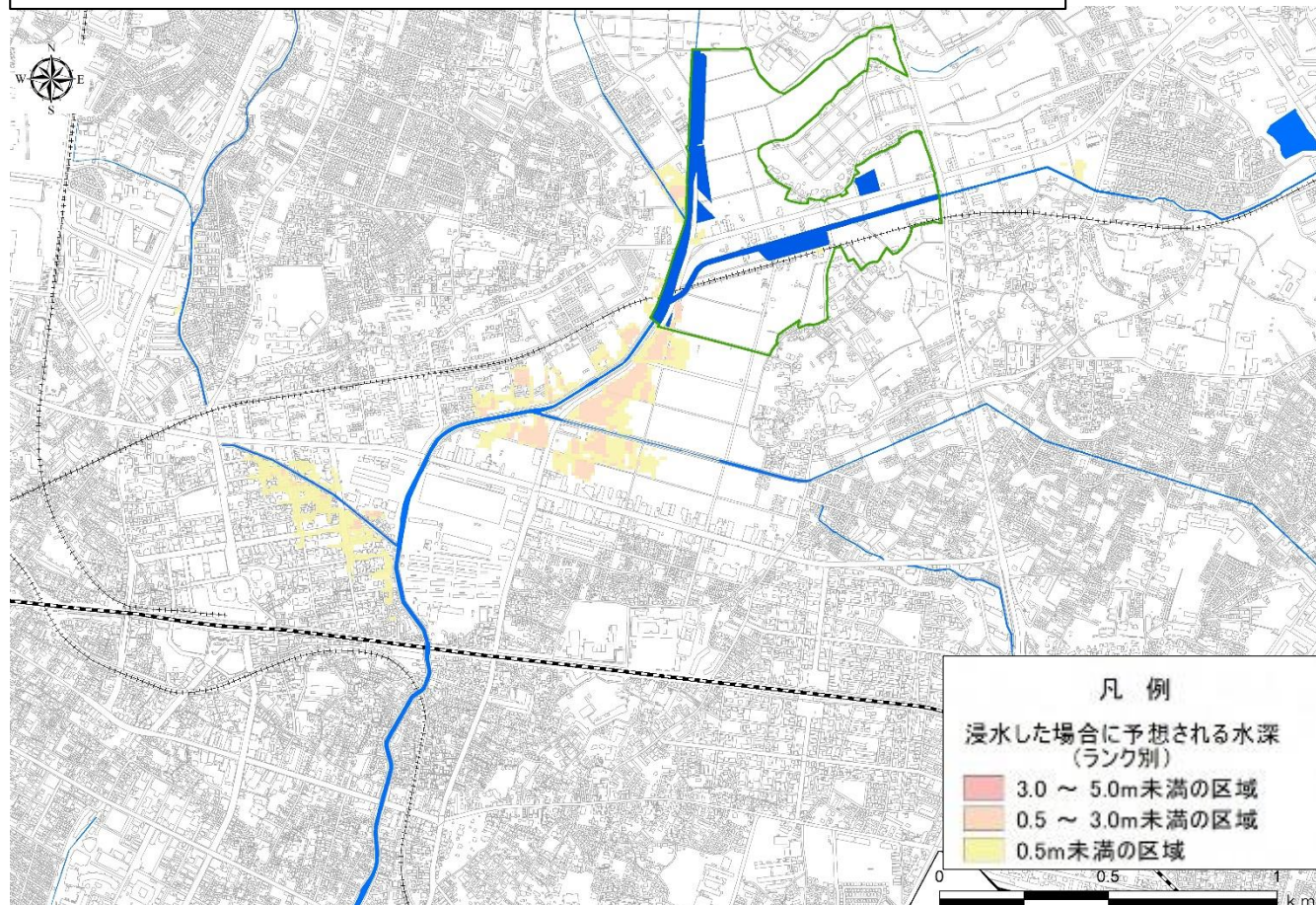


浸水深変化量(m)
予想区域図—想定区域図

- 土地区画整備範囲
- 1.00m以上増
- 0.50m以上増
- 0.05m以上増
- (±0.05m)
- 0.05m以上減
- 0.50m以上減
- 1.00m以上減

6. 解析結果 ～高頻度の降雨(年超過確率1/10)(溢水のみ)～

土地区画整理事業後の浸水予想区域図（溢水のみ）

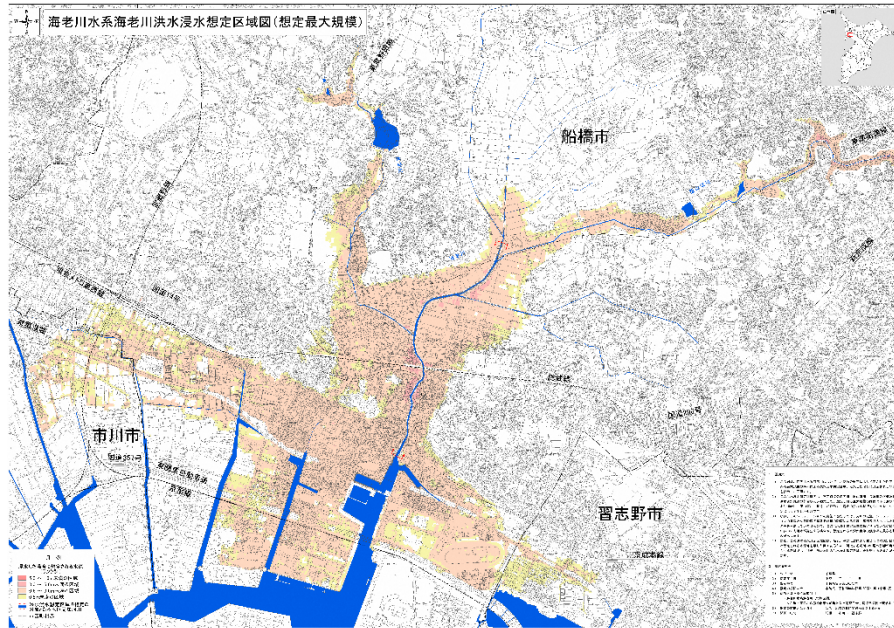


今回実施

6. 解析結果

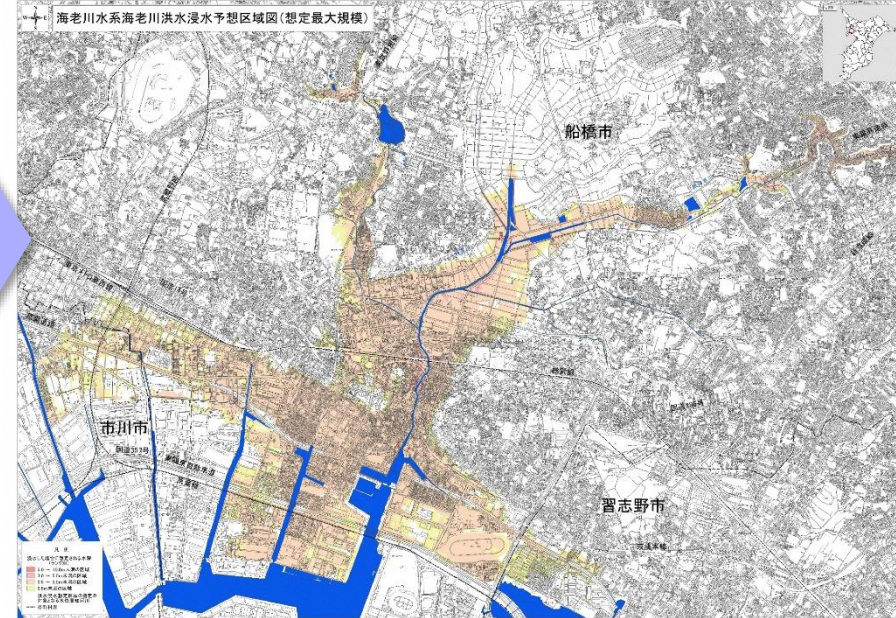
～想定最大規模の降雨の比較～

①土地区画整理事業前の浸水想定区域図



作成主体 千葉県
指定年月 令和元年12月23日より引用

②土地区画整理事業後の浸水予想区域図

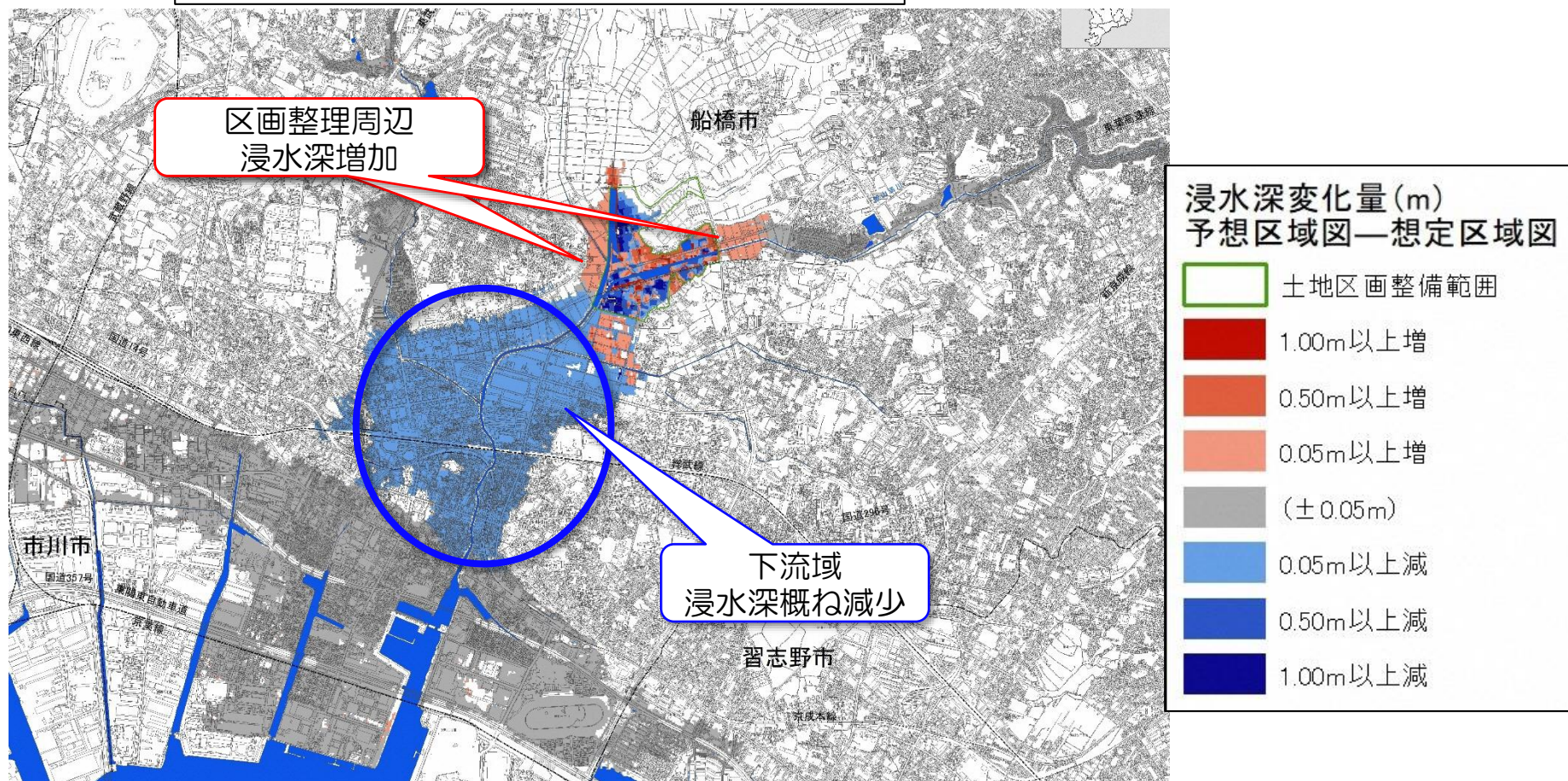


今回実施

6. 解析結果

～想定最大規模の降雨の比較～

土地区画整理事業前後の浸水深さの変化量

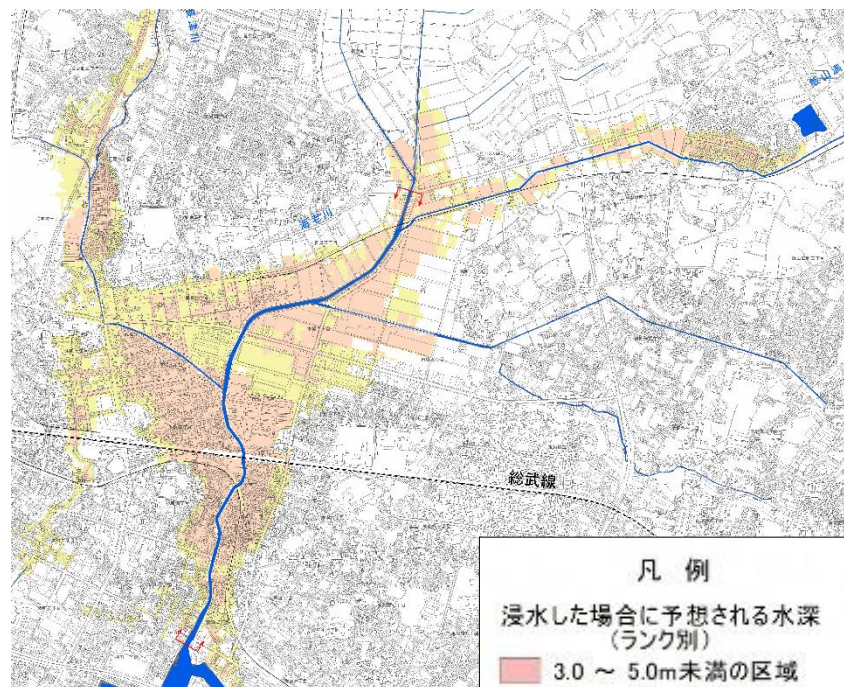


②土地区画整理事業後の浸水予想区域図—①土地区画整理事業前の浸水想定区域図

6. 解析結果

～計画規模の降雨の比較～

①土地区画整理事業前の浸水想定区域図



作成主体 千葉県
指定年月 令和元年12月23日より引用

②土地区画整理事業後の浸水予想区域図

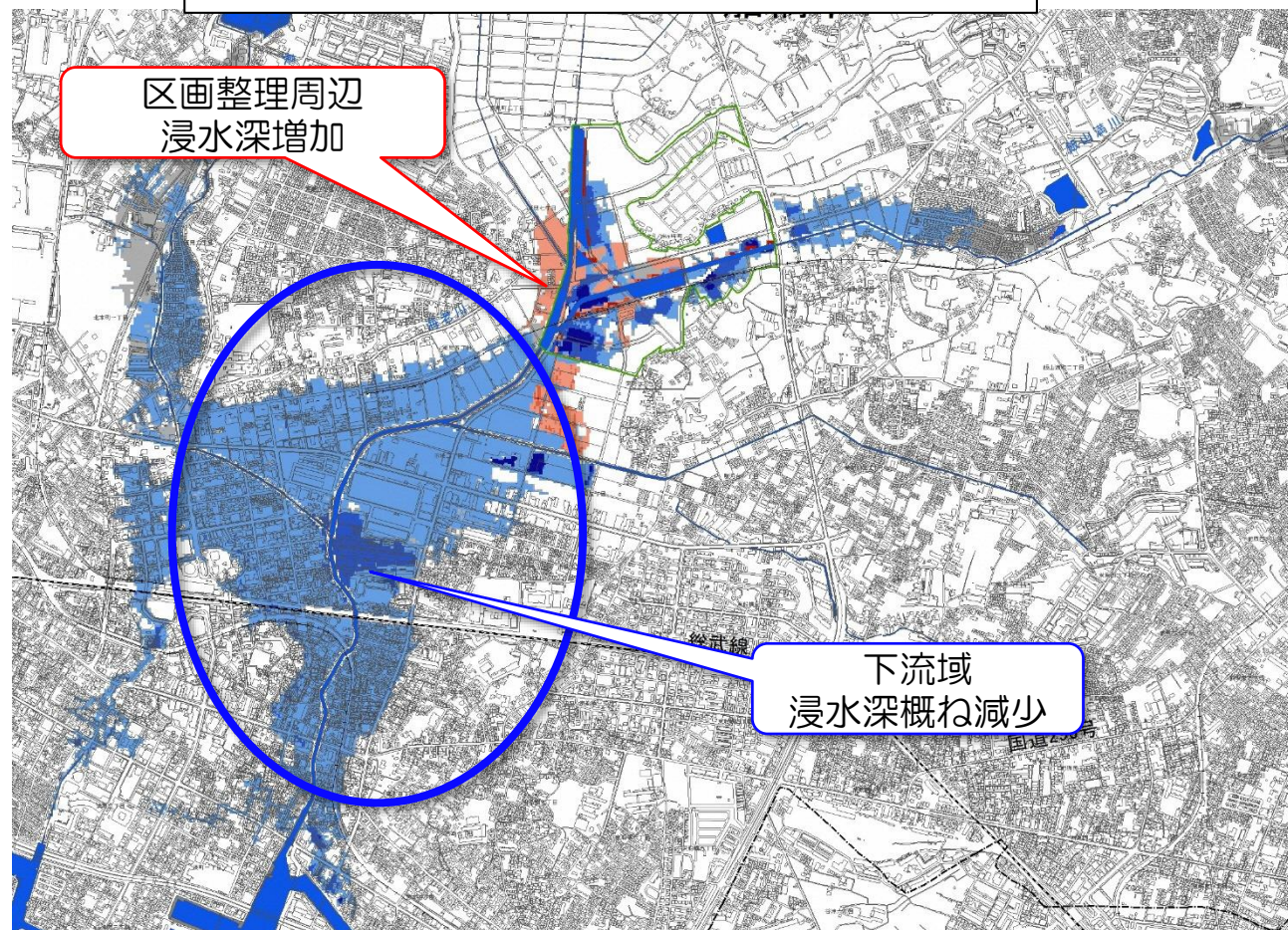


今回実施

6. 解析結果

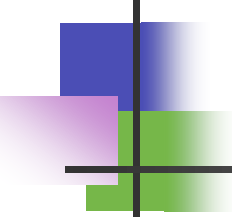
～計画規模の降雨の比較～

土地区画整理事業前後の浸水深さの変化量



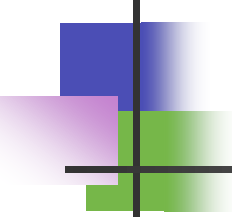
浸水深変化量(m)
予想区域図—想定区域図





7. まとめ

- 高頻度の降雨における土地区画整理事業による治水への影響は、浸水シミュレーションによると、概ね浸水深が減少しています。
- 想定最大規模や計画規模の降雨における土地区画整理事業による治水への影響は、浸水シミュレーションによると、下流域では浸水深が概ね減少しています。土地区画整理事業の周辺では浸水深が増加しているエリアがあることから、土地区画整理組合と協議を続けてまいります。



7. まとめ

- 市としては、「令和4年1月に開催された千葉県都市計画審議会で付された意見」に基づき、
<海老川流域の治水への影響に関する検討を続け>
➡令和4年2月からシミュレーションを実施
<住民に対し御理解いただけるよう丁寧に説明を重ね>
➡令和4年5月と8月に各6回、住民説明会を実施
- 今後も丁寧に説明を重ねていく